

「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成

実施期間：平成22～26年度

(地独) 北海道立総合研究機構

- ┌ 建築研究本部：北方建築総合研究所
- ├ 森林研究本部：林業試験場・林産試験場
- └ 産業技術研究本部：工業試験場

背景

- 北海道では、
- 産業構造の転換、地域における人口減少、少子高齢社会の進行等により、地域産業の地盤低下が深刻。
 - 道内人工林資源の充実や世界的な木材需給構造の変化等により、道産材自給率が向上。森林・林業再生の機運が高揚。
 - 北方型住宅を中心とした国内トップクラスの省エネ・耐久技術が豊富に蓄積。

目的

- ① 住宅に対する多様なニーズに応える「新たな住まい」のあり方の提示。それを実現する技術開発と設計手法の構築。
- ② 高品質・低コストな木質建材の生産システムの開発。持続可能な森林資源の循環利用システムの構築。
- ③ 道内の住宅関連産業と森林関連産業の融合による「森」と「住」を核とした循環システムの構築。持続的に発展可能なビジネスモデルの提案。

研究の概要

変化する社会環境 求められる変化への対応

人口（人口減少・少子高齢化）
 経済（内需縮小・基幹産業の衰退）
 地域（社会縮小・格差拡大）
 産業（雇用確保が困難・後継者問題）

新たな住まい

- ・魅力ある住まいの創造
- ・環境負荷の低減
- ・性能の向上と表示
- ・社会的要求と住宅供給

地域資源の活用

- ・地域雇用の創出
- ・地域産業の振興

森林資源の循環

- ・森林資源の管理
- ・持続的な利用方策
- ・木材の新規需要開拓
- ・流通体制の整備

北方型住宅（民間・公共）

- ・地域定住
- ・住宅産業の振興

グリーンイノベーション

- ・持続的森林管理
- ・森林産業の振興

地域の再生



